

各 位

フィデアホールディングス株式会社  
株式会社 荘内銀行  
株式会社 北都銀行

平成 29 年 3 月期（平成 28 年度）決算概要について

フィデアホールディングス株式会社（本社：仙台市、社長：田尾 祐一、以下「フィデアHD」）は、平成 29 年 3 月期（平成 28 年度）の連結業績の概要と、株式会社荘内銀行（本店：山形県鶴岡市、頭取：上野 雅史、以下「荘内銀行」）及び株式会社北都銀行（本店：秋田市、頭取：斉藤 永吉、以下「北都銀行」）の単体業績等につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. フィデアHD

(1) 平成 29 年 3 月期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）連結業績

市場金利の低下や金融市場の変動を背景に貸出金利息や有価証券関係損益が減少したことなどから、経常収益は前期比 38 億 17 百万円（6.8%）減少し 521 億 85 百万円、経常利益は前期比 69 億 29 百万円（53.6%）減少し 59 億 86 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比 42 億 38 百万円（47.8%）減少し 46 億 27 百万円。

譲渡性預金を含む預金等残高は、インターネット支店において個人預金が減少したことなどから前期末比 448 億円（1.7%）減少し 2 兆 5,339 億円。貸出金残高は、個人ローンを中心に前期末比 103 億円（0.5%）増加し 1 兆 7,593 億円。

自己資本比率は、内部留保の充実に取り組む一方でリスクアセットの増加により前期末比 0.04 ポイント低下し 9.48%。

		番号	フィデアHD	前期(末)	前期(末)比	同増減率
損 益	経常収益	(1)	52,185 百万円	56,002 百万円	△ 3,817 百万円	△ 6.8 %
	業務純益	(2)	7,422 百万円	13,195 百万円	△ 5,773 百万円	△ 43.7 %
	コア業務純益*	(3)	6,456 百万円	11,036 百万円	△ 4,579 百万円	△ 41.4 %
	経常利益	(4)	5,986 百万円	12,915 百万円	△ 6,929 百万円	△ 53.6 %
	親会社株主に帰属する当期純利益	(5)	4,627 百万円	8,866 百万円	△ 4,238 百万円	△ 47.8 %
主要勘定残高 ( 末 残 )	総資産	(6)	28,468 億円	28,739 億円	△ 270 億円	△ 0.9 %
	預金等(譲渡性預金を含む)	(7)	25,339 億円	25,787 億円	△ 448 億円	△ 1.7 %
	貸出金	(8)	17,593 億円	17,489 億円	103 億円	0.5 %
自己資本比率	有価証券	(9)	9,373 億円	10,054 億円	△ 681 億円	△ 6.7 %
	自己資本比率	(10)	9.48 %	9.52 %	△ 0.04 ㊦	
経 営 効 率	コア業務粗利益経費率(OHR)	(11)	82.02 %	72.53 %	9.49 ㊦	
	金融再生法開示債権額(2行合算)	(12)	37,845 百万円	39,058 百万円	△ 1,212 百万円	△ 3.1 %
不 良 債 権	総与信に占める割合(2行合算)	(13)	2.09 %	2.17 %	△ 0.08 ㊦	
	与信関係費用	(14)	3,113 百万円	2,634 百万円	479 百万円	18.2 %

\* コア業務純益 = 業務純益 - 国債等債券損益(5勘定戻) + 一般貸倒引当金純繰入額 (以下、同様。)

(次ページへ)

【本件に関するお問い合わせ先（報道関係）】

フィデアホールディングス(株) I R グループ	大石	TEL:022-290-8800 (仙台市)
	佐藤	TEL:023-626-9006 (山形市)
	市田	TEL:018-833-4211 (秋田市)

## (2) 平成 30 年 3 月期（平成 29 年度）連結業績予想

平成 30 年 3 月期連結業績は、第 3 次中期経営計画のスタート年度としてお客さまのニーズに丁寧にお応えしつつ顧客部門収益の増強とコストマネジメントの徹底に取り組み、通期の経常利益 36 億円、親会社株主に帰属する当期純利益 27 億円を計画。

フィデアHD (連結)	番号	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益
		第2四半期(累計)	(15)
通期	(16)	3,600 百万円	2,700 百万円

### ※ ご参考 (単体業績予想)

(単体)	番号	荘内銀行		北都銀行	
		経常利益	当期純利益	経常利益	当期純利益
第2四半期(累計)	(17)	700 百万円	400 百万円	700 百万円	600 百万円
通期	(18)	1,400 百万円	1,000 百万円	1,400 百万円	1,200 百万円

## (3) 株式配当金

普通株式の配当金につきましては、長期的視野に立った経営基盤の確保に努めながら安定的な配当を行うことを基本方針としております。

平成 29 年 3 月期の配当は、普通株式 1 株当たり 6 円（うち中間配当 3 円、うち期末配当 3 円）を実施いたします。また、平成 30 年 3 月期の配当は、普通株式 1 株当たり 6 円を継続する予定としております。

	番号	年間配当金		
		第2四半期末	期末	合計
		円 銭	円 銭	円 銭
H28年3月期	(19)	—	6.00	6.00
H29年3月期	(20)	3.00	3.00	6.00
H30年3月期(予想)	(21)	3.00	3.00	6.00

(次ページへ)

## 2. 荘内銀行

### 平成 29 年 3 月期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）単体業績

貸出金利息や有価証券関係損益が減少したことなどから、経常収益は前期比 26 百万円減少し 265 億 76 百万円。経常利益は前期比 31 億 12 百万円減少し 24 億 99 百万円、当期純利益は前期比 12 億 15 百万円減少し 19 億 68 百万円。

譲渡性預金を含む預金等残高は、インターネット支店での減少を主因として、前期末比 404 億円減少の 1 兆 3,254 億円。貸出金残高は、個人ローンを中心に前期末比 73 億円増加し 9,651 億円。

自己資本比率は、内部留保の充実に取り組む一方でリスクアセットの増加により前期末比 0.07 ポイント低下し 9.98%。

		番号	荘内銀行	前期(末)	前期(末)比	同増減率
損益	経常収益	(22)	26,576 百万円	26,603 百万円	△ 26 百万円	△ 0.0 %
	業務純益	(23)	3,727 百万円	5,396 百万円	△ 1,668 百万円	△ 30.9 %
	コア業務純益	(24)	3,225 百万円	5,249 百万円	△ 2,024 百万円	△ 38.5 %
	経常利益	(25)	2,499 百万円	5,611 百万円	△ 3,112 百万円	△ 55.4 %
	当期純利益	(26)	1,968 百万円	3,183 百万円	△ 1,215 百万円	△ 38.1 %
主要勘定残高 (末残)	預金等(含む譲渡性預金)	(27)	13,254 億円	13,659 億円	△ 404 億円	△ 2.9 %
	貸出金	(28)	9,651 億円	9,578 億円	73 億円	0.7 %
	有価証券	(29)	4,720 億円	5,150 億円	△ 430 億円	△ 8.3 %
自己資本比率	自己資本比率	(30)	9.98 %	10.05 %	△ 0.07 ㊦	
経営効率	コア業務粗利益経費率(OHR)	(31)	81.67 %	72.74 %	8.93 ㊦	
不良債権	金融再生法開示債権額	(32)	24,791 百万円	24,090 百万円	700 百万円	2.9 %
	総与信に占める割合	(33)	2.52 %	2.47 %	0.05 ㊦	
	与信関係費用	(34)	2,022 百万円	816 百万円	1,205 百万円	147.7 %

## 3. 北都銀行

### 平成 29 年 3 月期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）単体業績

貸出金利息や有価証券関係損益が減少したことなどから、経常収益は前期比 30 億 44 百万円減少し 239 億 8 百万円、経常利益は前期比 35 億 45 百万円減少し 26 億 53 百万円、当期純利益は前期比 29 億 46 百万円減少し 20 億 69 百万円。

譲渡性預金を含む預金等残高は、法人預金が増加した一方でインターネット支店において個人預金が増加したことなどから、前期末比 42 億円減少し 1 兆 2,175 億円。貸出金残高は、個人ローンが増加したことなどから、前期末比 31 億円増加し 8,111 億円。

自己資本比率は、内部留保の充実に取り組む一方でリスクアセットの増加により前期末比 0.49 ポイント低下し 11.25%。

		番号	北都銀行	前期(末)	前期(末)比	同増減率
損益	経常収益	(35)	23,908 百万円	26,952 百万円	△ 3,044 百万円	△ 11.2 %
	業務純益	(36)	2,794 百万円	6,468 百万円	△ 3,674 百万円	△ 56.7 %
	コア業務純益	(37)	2,366 百万円	4,561 百万円	△ 2,195 百万円	△ 48.1 %
	経常利益	(38)	2,653 百万円	6,199 百万円	△ 3,545 百万円	△ 57.1 %
	当期純利益	(39)	2,069 百万円	5,016 百万円	△ 2,946 百万円	△ 58.7 %
主要勘定残高 (末残)	預金等(含む譲渡性預金)	(40)	12,175 億円	12,218 億円	△ 42 億円	△ 0.3 %
	貸出金	(41)	8,111 億円	8,079 億円	31 億円	0.3 %
	有価証券	(42)	4,653 億円	4,903 億円	△ 250 億円	△ 5.1 %
自己資本比率	自己資本比率	(43)	11.25 %	11.74 %	△ 0.49 ㊦	
経営効率	コア業務粗利益経費率(OHR)	(44)	85.81 %	75.97 %	9.84 ㊦	
不良債権	金融再生法開示債権額	(45)	13,053 百万円	14,967 百万円	△ 1,913 百万円	△ 12.7 %
	総与信に占める割合	(46)	1.57 %	1.82 %	△ 0.25 ㊦	
	与信関係費用	(47)	1,081 百万円	1,627 百万円	△ 545 百万円	△ 33.5 %

以上